

（参考）

## 平成28年3月期 第3四半期連結決算概要

平成28年 2月2日  
三井化学株式会社  
(単位：億円)

## 1. 損益状況

	平成27年3月期 第3四半期	平成28年3月期 第3四半期	増減	平成27年 3月期実績	平成28年3月期業績予想 (2/2発表値)	
					通期	増減
売上高	11,652	10,318	△1,334	15,501	13,550	△1,951
営業利益	327	564	237	420	700	280
経常利益	366	527	161	444	600	156
親会社株主に帰属する 当期純利益	190	336	146	173	350	177
為替レート 円/US\$	107	122	15	110	121	11
国産ナフサ価格 円/KL	68,900	45,600	△23,300	63,500	44,200	△19,300

2. セグメント別 売上高・営業利益  
・売上高

(単位：億円)

	平成27年3月期 第3四半期	平成28年3月期 第3四半期	増減			平成27年 3月期実績	平成28年3月期業績予想 (2/2発表値)	
			計	数量差			通期	増減
				数量差	価格差			
ヘルスケア	1,024	1,177	153	161	△8	1,382	1,550	168
機能樹脂	1,284	1,270	△14	△30	16	1,745	1,800	55
ウレタン	1,163	884	△279	△216	△63	1,548	1,100	△448
基礎化学品	2,546	2,004	△542	△20	△522	3,308	2,500	△808
石化	4,429	3,744	△685	144	△829	5,844	4,900	△944
フード&パッケージング	935	959	24	35	△11	1,292	1,300	8
その他	271	280	9	9	-	382	400	18
合計	11,652	10,318	△1,334	83	△1,417	15,501	13,550	△1,951

## ・営業利益

(単位：億円)

	平成27年3月期 第3四半期	平成28年3月期 第3四半期	増減				平成27年 3月期実績	平成28年3月期業績予想 (2/2発表値)	
			計	数量差				通期	増減
				数量差	交易条件	固定費他			
ヘルスケア	60	77	17	21	9	△13	91	110	19
機能樹脂	117	205	88	5	82	1	187	260	73
ウレタン	△28	△58	△30	△4	△26	0	△35	△80	△45
基礎化学品	△61	△9	52	4	35	13	△79	△20	59
石化	195	293	98	20	76	2	216	380	164
フード&パッケージング	76	108	32	18	19	△5	91	130	39
その他	9	△3	△12	-	-	△12	9	△5	△14
全社費用等	△41	△49	△8	-	-	△8	△60	△75	△15
合計	327	564	237	64	195	△22	420	700	280

当期より、事業ポートフォリオの変革に向けて、事業セグメントを変更しております。

なお、平成27年3月期の金額は、平成28年3月期の業績予想対比のための概算数値であり、監査を受けておりません。

## 3. 特別損益主要内訳

(単位：億円)

	平成27年3月期 第3四半期	平成28年3月期 第3四半期	増減	平成27年 3月期実績	平成28年3月期業績予想 (2/2発表値)	
					通期	増減
資産売却益	19	39	20	23	39	16
事業譲渡益	-	37	37	-	37	37
固定資産処分・売却損	△24	△34	△10	△45	△66	△21
減損損失	△18	△41	△23	△53	△41	12
関連事業損失	-	△9	△9	-	△9	△9
その他	△11	-	11	△11	-	11
合計	△34	△8	26	△86	△40	46

## 4. 貸借対照表

（単位：億円）

	資産の部				負債及び純資産の部		
	H27/3末	H27/12末	増減		H27/3末	H27/12末	増減
流動資産	7,317	6,625	△ 692	有利子負債	5,487	4,934	△ 553
有形固定資産	4,336	4,174	△ 162	その他負債	3,918	3,611	△ 307
無形固定資産	728	618	△ 110	自己資本	4,062	4,224	162
投資等	1,737	1,990	253	非支配株主持分	651	638	△ 13
資産計	14,118	13,407	△ 711	負債純資産計	14,118	13,407	△ 711

(NET D/E) (1.22) (1.00) (△ 0.22)

## 5. キャッシュ・フロー

（単位：億円）

	平成27年3月期 第3四半期	平成28年3月期 第3四半期	増減	平成27年 3月期実績	平成28年3月期 業績予想 (2/2発表値)	増減
	営業キャッシュ・フロー	275	1,079	804	583	1,400
投資キャッシュ・フロー	△ 256	△ 287	△ 31	△ 350	△ 500	△ 150
（フリーキャッシュ・フロー）	(19)	(792)	(773)	(233)	(900)	(667)
財務キャッシュ・フロー	△ 275	△ 601	△ 326	△ 466	△ 800	△ 334
その他	21	△ 11	△ 32	27	-	△ 27
現預金等増減	△ 235	180	415	△ 206	100	306
現預金等残高	477	686	209	506		

## 6. 当期のトピックス

- ・大牟田工場にて新規ポリウレタン材料の新プラント建設着工（平成27年4月）  
（特殊イソシアネートFORTIMO®及びSTABiO®製造設備、2千トン/年、平成28年8月営業運転予定）
- ・Mitsui Chemicals & SKC Polyurethanes Inc. 営業開始（平成27年7月）
- ・タイにおける通気性フィルム製造設備の増設工事着工（平成27年11月）  
（4,200トン/年：平成29年1月営業運転開始予定）
- ・Whole You™ ブランドとして初のフルデンチャー（総入れ歯）及び  
閉塞性睡眠時無呼吸症候群（OSAS）向けマウスピースの新製品を発売（平成27年11月）
- ・台湾セントロニック社子会社に出資（平成27年12月）  
（金属樹脂一体成型品「ポリメタック®」の事業開発を促進）



# 平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年2月2日

上場取引所 東

上場会社名 三井化学株式会社

コード番号 4183 URL <http://jp.mitsuichem.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 淡輪 敏

問合せ先責任者 (役職名) コーポレートコミュニケーション部長 (氏名) 小澤 敏

TEL 03-6253-2100

四半期報告書提出予定日 平成28年2月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、アナリスト向け)

(百万円未満四捨五入)

## 1. 平成28年3月期第3四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年12月31日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	1,031,784	△11.4	56,419	72.6	52,684	44.0	33,616	76.6
27年3月期第3四半期	1,165,159	5.1	32,679	116.0	36,595	160.3	19,035	—

(注) 包括利益 28年3月期第3四半期 28,476百万円 (△45.3%) 27年3月期第3四半期 52,091百万円 (539.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第3四半期	33.59	—
27年3月期第3四半期	19.01	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年3月期第3四半期	1,340,731	486,218	31.5	422.15
27年3月期	1,411,790	471,299	28.8	405.88

(参考) 自己資本 28年3月期第3四半期 422,389百万円 27年3月期 406,235百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	2.00	—	3.00	5.00
28年3月期	—	4.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	4.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,355,000	△12.6	70,000	66.5	60,000	35.1	35,000	102.8	34.98

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、【添付資料】5ページ「2. サマリー情報(その他)に関する事項(1)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期3Q	1,022,020,076 株	27年3月期	1,022,020,076 株
28年3月期3Q	21,447,231 株	27年3月期	21,154,633 株
28年3月期3Q	1,000,747,068 株	27年3月期3Q	1,001,142,152 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続きは終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載の業績予想等は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した予想であり、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。従いまして、実際の業績等は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。業績予想の前提条件その他関連する事項については、【添付資料】4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法)

当社は、平成28年2月2日に、機関投資家、アナリスト向けネットコンファレンスを開催する予定です。説明会の音声を説明資料とともに、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

## 【添付資料の目次】

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	4
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報（その他）に関する事項	5
(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(2) 会計方針の変更	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
(3) 継続企業の前提に関する注記	10
(4) セグメント情報	10
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	12
(6) 連結の範囲及び持分法適用の範囲の変更	12

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する定性的情報

**(全般的状況)**

当第3四半期連結累計期間(平成27年4月1日～平成27年12月31日の9ヶ月間。以下「当四半期」といいます。)における事業環境は、堅調な個人消費や住宅市場を背景とした米国での景気回復の動きが継続し、また、英国やドイツを中心としたヨーロッパにおいても緩やかな景気回復の動きが継続する一方、中国や新興国では、依然として景気は減速の動きを見せております。

日本では、企業収益や雇用環境の改善などを受け、景気は緩やかな回復基調が継続しております。このような情勢のもとで、当社グループの当四半期の業績は以下のとおりとなりました。

(単位：億円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益
当四半期	10,318	564	527	336
前年同四半期	11,652	327	366	190
増減額	△1,334	237	161	146
増減率(%)	△11.4%	72.6%	44.0%	76.6%

**売上高**は、前年同四半期に比べ1,334億円減(11.4%減)の1兆318億円となりました。これは、主にヘルスケア事業における決算期変更による12ヶ月分の売上高の取込み等により、販売数量増加の影響が83億円あったものの、ナフサなどの原燃料価格下落による販売価格下落の影響が1,417億円あったことなどによるものです。

**営業利益**は、前年同四半期に比べ237億円増(72.6%増)の564億円となりました。これは、主に増販に加え、スプレッドの改善及び円安による交易条件の改善によるものです。

**経常利益**は、前年同四半期に比べ161億円増(44.0%増)の527億円となりました。これは、主に為替変動による損失があったものの、営業利益が増加したことによるものです。

**特別損益**は、資産売却益や事業譲渡益等があったものの、固定資産処分損等の計上により、8億円の損失となりました。

以上により、**税金等調整前四半期純利益**は、前年同四半期に比べ187億円増(56.1%増)の519億円となりました。

**親会社株主に帰属する四半期純利益**は、前年同四半期に比べ146億円増(76.6%増)の336億円となり、1株当たり四半期純利益金額は33.59円となりました。

当四半期のセグメント別の状況は、次のとおりです。

当社は、平成26年度中期経営計画における事業戦略、新事業・新製品創出戦略及び事業支援戦略の加速を図るため、平成27年4月1日付で一部事業セグメントを見直しました。具体的には、従来の機能化学品セグメントのうち、精密化学品事業を基礎化学品セグメントに、ライセンス事業を石化セグメントに移管し、ヘルスケア材料事業、不織布事業及び歯科材料事業をヘルスケアセグメントとしております。また、従来の機能化学品セグメントの農薬事業とフィルム・シートセグメントを統合し、新たにフード&パッケージングセグメントとしております。

なお、前年同四半期比較にあたっては、前年同四半期分を変更後のセグメントに組み替えて行っております。

**(ヘルスケア)**

当セグメントの売上高は、前年同四半期に比べ153億円増の1,177億円、売上高全体に占める割合は11%となりました。また、営業利益は、固定費増加等があったものの増販効果により、前年同四半期に比べ17億円増の77億円となりました。以上により、セグメント全体では、増収・増益と

なりました。

**ヘルスケア材料**のメガネレンズ用材料、**不織布**は、海外の需要拡大等を受けて販売を拡大し、好調に推移しました。

**歯科材料**は決算期変更による12ヶ月間の損益取込みの影響により、のれん償却費等の固定費が増加しております。

#### (機能樹脂)

当セグメントの売上高は、前年同四半期に比べ14億円減の1,270億円、売上高全体に占める割合は12%となりました。一方、営業利益は、円安効果及び需要拡大への的確な対応等により、前年同四半期に比べ88億円増の205億円となりました。以上により、セグメント全体では、減収・増益となりました。

自動車部品及び樹脂改質材用途を中心とする**エラストマー**は、円安効果及びグローバルな需要に的確に対応し、収益を拡大しました。

**機能性コンパウンド**製品は、円安効果及び北米・アジアを中心とする自動車用途の堅調な需要に的確に対応し、収益を拡大しました。

また、**機能性ポリマー**についても、円安効果及び電子情報関連用途の需要拡大に的確に対応し、収益を拡大しました。

#### (ウレタン)

当セグメントの売上高は、前年同四半期に比べ279億円減の884億円、売上高全体に占める割合は9%となりました。また、営業損失は、ポリウレタン材料の海外市況下落の影響により、前年同四半期に比べ30億円増の58億円となりました。以上により、セグメント全体では、減収・減益となりました。

**コーティング材料**は、海外での需要拡大及び交易条件の改善等により収益を拡大しております。

一方、**ポリウレタン材料**は、7月に設立された三井化学SKCポリウレタン(株)に事業譲渡しましたが、海外市況の低迷による同社向け製造受託事業の収益悪化により、厳しい状況が続いております。

#### (基礎化学品)

当セグメントの売上高は、前年同四半期に比べ542億円減の2,004億円、売上高全体に占める割合は20%となりました。一方、営業損失は、当社が進めてきた事業再構築の効果が発現したことを受け、前年同四半期に比べ52億円改善の9億円となりました。以上により、セグメント全体では、減収・営業損失の改善となりました。

**フェノール**は、前年同四半期に比べ市況は改善しているものの、同業他社の新設立ち上げ及び中国経済鈍化の影響等により、依然として市況水準は低く、厳しい状況が続いております。

**高純度テレフタル酸**は、中国市況の低迷を背景に、厳しい状況が続いております。

#### (石化)

当セグメントの売上高は、前年同四半期に比べ685億円減の3,744億円、売上高全体に占める割合は36%となりました。一方、営業利益は、堅調な国内需要、為替の影響により、前年同四半期に比べ98億円増の293億円となりました。以上により、セグメント全体では、減収・増益となりました。

ナフサクラッカーの稼働率が前年同四半期を上回りました。また、北中米の自動車生産台数の増加等により、海外PPコンパウンド事業の収益は順調に推移しました。

#### (フード&パッケージング)

当セグメントの売上高は、前年同四半期に比べ24億円増の959億円、売上高全体に占める割合は9%となりました。また、営業利益は、販売の拡大や交易条件改善等により、前年同四半期に比べ32億円増の108億円となりました。以上により、セグメント全体では、増収・増益となりました。

**機能性フィルム・シート**は、包装材料分野における堅調な販売、スマートフォン等を始めとした高付加価値分野における需要の拡大、新製品の拡販及び円安効果等により、収益を拡大しております。

**農薬**は、国内において消費増税の反動を受けた前年に対して増販しました。また、海外においては円安効果等により、収益が拡大しました。

### (その他)

当セグメントの売上高は、前年同四半期に比べ9億円増の280億円、売上高全体に占める割合は3%となりました。一方、営業損益は、前年同四半期に比べ12億円悪化の3億円の損失となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

#### (資産、負債、純資産の状況)

当四半期末の**総資産**は、前期末に比べ711億円減の1兆3,407億円となりました。

当四半期末の**負債**は、前期末に比べ860億円減の8,545億円となりました。また、**有利子負債**は553億円減の4,934億円となりました。この結果、総資産に対する有利子負債の比率は前期末に比べ2.1ポイント減の36.8%となりました。

当四半期末の**純資産**は、前期末に比べ149億円増の4,862億円となり、**自己資本比率**は前期末に比べ2.7ポイント増の31.5%となりました。

以上により、当期末の**ネットD/Eレシオ(ネット有利子負債(有利子負債－現預金・譲渡性預金)／自己資本)**は、前期末に比べ0.22ポイント減の1.00となりました。

### (3) 連結業績予想に関する定性的情報

#### (業績の見通し)

業績予想にあたり、為替レートは通期121円/\$ (1月～3月 120円/\$)、国産ナフサ価格は通期44,200円/KL (1月～3月 40,000円/KL)を前提としております。

通期の連結業績予想は、前回発表予想数値を見直しておりません。なお、各セグメントの内訳については見直しております。

#### (セグメント別の見通し)

セグメント別の見通しは、以下のとおりであります。

(単位：億円)

	売 上 高								合 計
	ヘルスケア	機能樹脂	ウレタン	基礎化学品	石化	フード&パッケージング	その他	全社費用等	
前回発表予想	1,550	1,750	1,160	2,590	4,800	1,300	400	—	13,550
今回修正予想	1,550	1,800	1,100	2,500	4,900	1,300	400	—	13,550
増減額	—	50	△60	△90	100	—	—	—	—

(単位: 億円)

	営業利益								
	ヘルス ケア	機能 樹脂	ウレ タン	基礎 化学品	石化	フード &パッ ケージ ング	その他	全社 費用等	合 計
前回発表 予想	110	245	△70	10	355	130	△5	△75	700
今回修正 予想	110	260	△80	△20	380	130	△5	△75	700
増減額	—	15	△10	△30	25	—	—	—	—

## 2. サマリー情報（その他）に関する事項

## (1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

## (税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

## (2) 会計方針の変更

## (企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。）等を、第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組み替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	52,004	59,645
受取手形及び売掛金	299,052	263,873
たな卸資産	291,295	258,382
繰延税金資産	9,118	9,364
未収入金	70,981	53,295
その他	10,079	18,796
貸倒引当金	△821	△779
流動資産合計	731,708	662,576
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	337,811	331,076
減価償却累計額	△229,306	△229,325
建物及び構築物(純額)	108,505	101,751
機械装置及び運搬具	1,012,850	994,403
減価償却累計額	△888,755	△882,679
機械装置及び運搬具(純額)	124,095	111,724
土地	160,188	157,974
建設仮勘定	28,994	35,949
その他	73,035	70,747
減価償却累計額	△61,188	△60,700
その他(純額)	11,847	10,047
有形固定資産合計	433,629	417,445
無形固定資産		
のれん	34,978	29,480
その他	37,785	32,286
無形固定資産合計	72,763	61,766
投資その他の資産		
投資有価証券	109,830	130,290
退職給付に係る資産	25,170	29,936
繰延税金資産	5,853	6,131
その他	33,706	33,414
貸倒引当金	△869	△827
投資その他の資産合計	173,690	198,944
固定資産合計	680,082	678,155
資産合計	1,411,790	1,340,731

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	164,193	147,449
短期借入金	122,062	96,977
1年内返済予定の長期借入金	36,192	31,013
1年内償還予定の社債	20,142	20,142
未払法人税等	4,103	5,666
役員賞与引当金	93	81
修繕引当金	10,601	6,281
事業構造改善引当金	1,290	871
資産除去債務	25	—
その他	89,798	89,318
流動負債合計	448,499	397,798
固定負債		
社債	79,858	69,716
長期借入金	289,138	274,395
繰延税金負債	24,421	21,639
役員退職慰労引当金	283	264
修繕引当金	2,147	3,127
環境対策引当金	956	809
事業構造改善引当金	10,846	1,206
退職給付に係る負債	59,193	57,137
資産除去債務	4,268	4,150
その他	20,882	24,272
固定負債合計	491,992	456,715
負債合計	940,491	854,513
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	125,053	125,053
資本剰余金	91,065	90,857
利益剰余金	165,408	191,806
自己株式	△14,454	△14,592
株主資本合計	367,072	393,124
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	21,018	19,441
繰延ヘッジ損益	△331	△67
為替換算調整勘定	28,926	17,779
退職給付に係る調整累計額	△10,450	△7,888
その他の包括利益累計額合計	39,163	29,265
非支配株主持分	65,064	63,829
純資産合計	471,299	486,218
負債純資産合計	1,411,790	1,340,731

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
売上高	1,165,159	1,031,784
売上原価	986,578	823,021
売上総利益	178,581	208,763
販売費及び一般管理費	145,902	152,344
営業利益	32,679	56,419
営業外収益		
受取利息	265	408
受取配当金	2,458	1,303
持分法による投資利益	403	1,634
為替差益	5,995	—
その他	3,241	2,690
営業外収益合計	12,362	6,035
営業外費用		
支払利息	5,522	5,086
為替差損	—	828
その他	2,924	3,856
営業外費用合計	8,446	9,770
経常利益	36,595	52,684
特別利益		
固定資産売却益	117	483
投資有価証券売却益	1,792	3,386
事業譲渡益	—	3,738
特別利益合計	1,909	7,607
特別損失		
固定資産処分損	2,342	3,318
固定資産売却損	11	4
減損損失	1,827	4,141
関連事業損失	—	928
契約解除金	903	—
退職給付制度改定損	181	—
特別損失合計	5,264	8,391
税金等調整前四半期純利益	33,240	51,900
法人税等	9,192	11,215
四半期純利益	24,048	40,685
非支配株主に帰属する四半期純利益	5,013	7,069
親会社株主に帰属する四半期純利益	19,035	33,616

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)
四半期純利益	24,048	40,685
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,819	△1,711
繰延ヘッジ損益	△752	413
為替換算調整勘定	17,894	△9,867
退職給付に係る調整額	5,929	2,620
持分法適用会社に対する持分相当額	2,153	△3,664
その他の包括利益合計	28,043	△12,209
四半期包括利益	52,091	28,476
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	43,668	23,717
非支配株主に係る四半期包括利益	8,423	4,759

## (3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (4) セグメント情報

前第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント							その他 (注)	合計
	ヘルス ケア	機能 樹脂	ウレ タン	基礎 化学品	石化	フード& パッケー ジング	計		
売上高									
外部顧客への売上高	102,434	128,373	116,319	254,542	442,907	93,496	1,138,071	27,088	1,165,159
セグメント間の内部 売上高又は振替高	925	14,633	2,336	22,622	115,495	3,059	159,070	49,772	208,842
計	103,359	143,006	118,655	277,164	558,402	96,555	1,297,141	76,860	1,374,001
セグメント利益又は セグメント損失(△)	6,004	11,748	△2,824	△6,114	19,461	7,628	35,903	943	36,846

(注)「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、その他関連事業等を含んでおります。

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	35,903
「その他」の区分の利益	943
セグメント間取引消去等	△ 90
全社費用等(注)	△4,077
四半期連結損益計算書の営業利益	32,679

(注)全社費用等は、主に報告セグメントに帰属させることが適当でない一般管理費及び新事業に係る研究開発費等であります。

当第3四半期連結累計期間（自平成27年4月1日至平成27年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント							その他 (注1)	合計
	ヘルス ケア	機能 樹脂	ウレ タン (注2)	基礎 化学品	石化	フード& パッケー ジング	計		
売上高									
外部顧客への売上高	117,731	126,952	88,347	200,421	374,443	95,917	1,003,811	27,973	1,031,784
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,632	14,124	1,796	15,290	84,340	3,059	121,241	43,040	164,281
計	120,363	141,076	90,143	215,711	458,783	98,976	1,125,052	71,013	1,196,065
セグメント利益又は セグメント損失(△)	7,744	20,484	△5,820	△928	29,274	10,772	61,526	△233	61,293

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、その他関連事業等を含んでおります。

2. 当第3四半期連結累計期間において、韓国SKCとのポリウレタン材料事業の統合に伴い、「ウレタン」セグメントの資産が18,663百万円減少しております。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	61,526
「その他」の区分の損失(△)	△233
セグメント間取引消去等	△21
全社費用等(注)	△4,853
四半期連結損益計算書の営業利益	56,419

(注) 全社費用等は、主に報告セグメントに帰属させることが適当でない一般管理費及び新事業に係る研究開発費等であります。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

(セグメント区分の変更)

当社は、平成26年度中期経営計画における事業戦略、新事業・新製品創出戦略及び事業支援戦略の加速を図るため、平成27年4月1日付で一部事業セグメントを見直しました。具体的には、従来の機能化学品セグメントのうち、精密化学品事業を基礎化学品セグメントに、ライセンス事業を石化セグメントに移管し、ヘルスケア材料事業、不織布事業及び歯科材料事業をヘルスケアセグメントとしております。また、従来の機能化学品セグメントの農薬事業とフィルム・シートセグメントを統合し、新たにフード&パッケージングセグメントとしております。

以上のセグメント区分の変更により、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

セグメントごとに製造・販売をしている主要製品は、以下のとおりであります。

セグメント		主要製品
報告セグメント	ヘルスケア	ヘルスケア材料、不織布、歯科材料
	機能樹脂	エラストマー、機能性コンパウンド、機能性ポリマー
	ウレタン	ポリウレタン材料、コーティング材料、接着材料、成形材料
	基礎化学品	フェノール、ビスフェノールA、高純度テレフタル酸、ペット樹脂、エチレンオキサイド、特殊ガス、化成品
	石化	エチレン、プロピレン、ポリエチレン、ポリプロピレン、触媒
	フード&パッケージング	機能性フィルム・シート、農薬
その他	その他	その他関連事業等

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
該当事項はありません。

(6) 連結の範囲及び持分法適用の範囲の変更

① 連結の範囲の変更

第2四半期連結会計期間より、天津天寰ポリウレタン有限公司他4社をポリウレタン材料事業の譲渡に伴い、連結の範囲から除外しております。

② 持分法適用の範囲の変更

第2四半期連結会計期間より、Mitsui Chemicals & SKC Polyurethanes Inc. 他1社を設立したことに伴い、持分法適用の範囲に含めております。また、錦湖三井化学(株)他1社をポリウレタン材料事業の譲渡に伴い、持分法適用の範囲から除外しております。